

ミライのフツーを目指したまちづくり

ー 持続可能なモビリティ社会構築に向けてー

豊田市長 太田 稔彦





豊田市の紹介 ～豊田市の印象は？～

豊田市の位置



女性

200,373人

男性

222,169人

人口

422,542人

(出典：平成27年国勢調査)

【財政力指数(総務省)】

H26年・・・19位

H27年・・・33位

H28年・・・18位 / 1741自治体

「クルマのまち」「ものづくりのまち」

ものづくり産業集積地



FCV



トヨタ自動車本社



PHV



豊田スタジアム



豊田市美術館



スカイホール豊田



豊田市中央図書館



とよた ecoful town



豊田市の紹介 ～豊かな自然をあわせ持つまち～

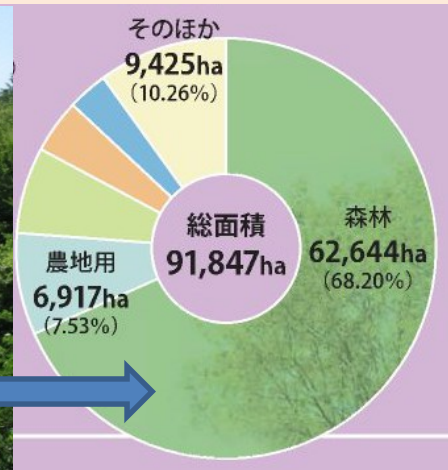
■ 平成17年に6町村と合併



都市近郊部（市域の30%）
人口：40.1万人（95.0%）

中山間部（市域の70%）
人口：2.1万人（5.0%）

■ 市域の7割を森林が占める



■ 都市近郊部にも豊かな自然環境



ラムサール条約登録湿地
～東海丘陵湧水湿地群～
トヨタ本社から7km弱の距離

■ 豊かな自然・農産物・特産物も豊富





豊田市の紹介 ～さまざまな暮らしができるまち～

やまで・・・



空き家情報バンクで中山間地へ移住

まちで・・・



森と矢作川に育まれた
祝祭・交流空間の創造

【事例1】山村への入り口

豊田市
× トヨタ自動車
× NPOの協働事業



【事例2】山村への入り口

おとなも
子どもも
多様な
体験交流



おいでん・さんそんセンターの
HP・Facebookをチェック！

おいでん
さんそん
センター

3

実証フィールドとしての豊田市

2009
(H21)

2010
(H22)

2011
(H23)

2012
(H24)

2013
(H25)

2014
(H26)

2015
(H27)

2016
(H28)

2017
(H29)

2018
(H30)

2019
(H31)

- 2009.1 環境モデル都市 選定

- 2010.4 選定

次世代エネルギー・社会システム実証地域
(2010～2014年度)

- 2010.8 豊田市低炭素社会システム実証推進協議会の設立

- 2016.10 設立

豊田市つながる社会実証推進
協議会(2016～2020年度)

- 2017.3
地方版IoT推進ラボ選定

- 2011.12 指定

地域活性化総合特別区域
次世代エネルギー・モビリティ創造特区
(2011～2015年度)

継続
～2020年度

- 2012 選定

ICT街づくり推進事業
あすけあいカード事業
(2012～2014年度)

継続
～16年度

- 2016 実証開始

たすけあい
プロジェクト
(2016～2018年度)

実装化



たすけあいプロジェクト

豊田市 足助・旭地区で展開中（H28～）

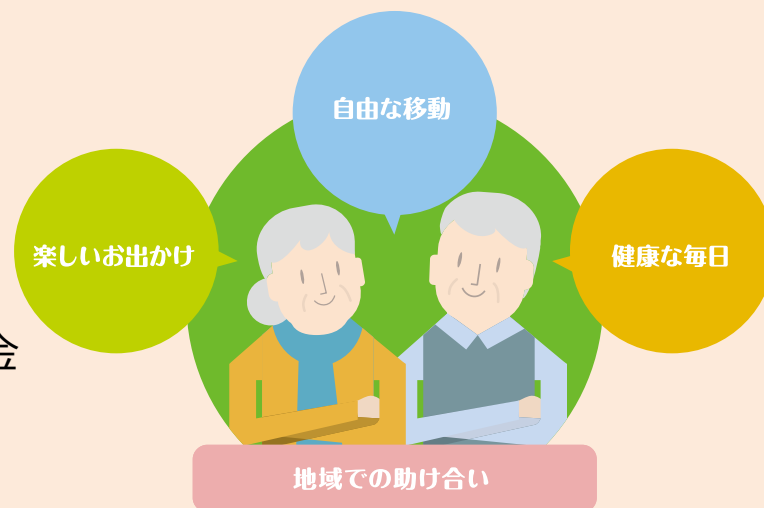
- ・名古屋大学、足助病院、豊田市が「高齢者が元気になるモビリティ社会」の実現のために、取り組みの三本柱である、**モビリティ支援**、**お出かけ促進**、**社会参加**を
- ・その**時点で導入できる技術**を使って、
- ・高齢化が先行的に進む中山間地域で**社会実装**するプロジェクト

たすけあいプロジェクト

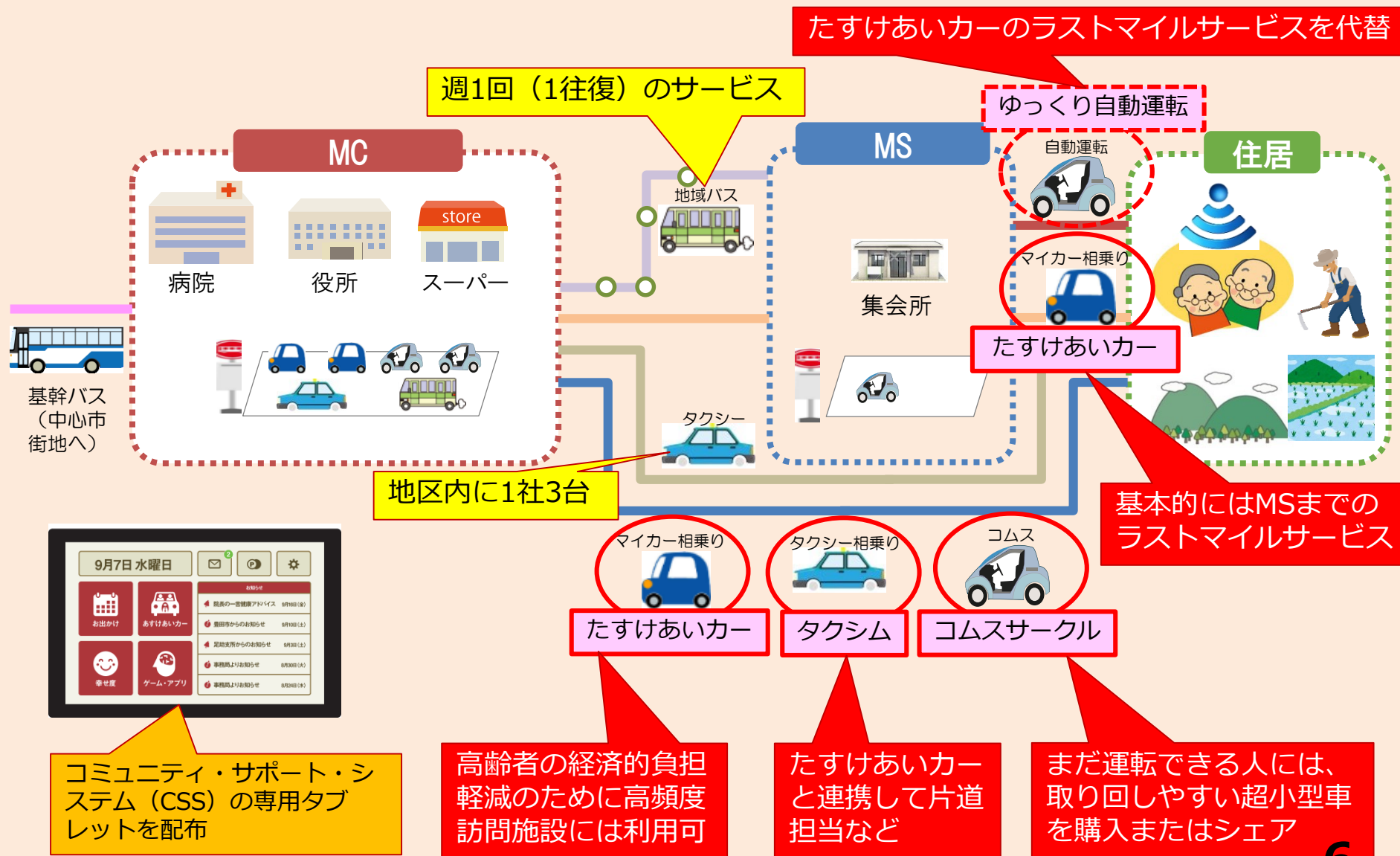
（旧 あすけあいプロジェクト）



トヨタ・モビリティ基金
（平成30年度まで）



持続可能なモビリティ社会づくり



マイカー相乗り（たすけあいカー）

仕組み

- 住民の自家用車でボランティアドライバーが住民を運ぶ（会員制）
- タブレットのアプリから予約、システムがマッチング
- ガソリン代実費のみを地域ポイントで精算（無償運送の位置づけ）



たすけあいカー（利用方法）

移動手段の予約

カレンダーから参加したいイベントをタッチ

リクエスト

オファー

1 同乗のお願いを登録



2 お願いの確認・同乗の承認を登録



3 乗車予約が成立



4 出発地にお迎えに行く



5 目的地に到着



マッチングできれば経路表示も



たすけあいカー（利用者用タブレット）

移動手段の予約

カレンダーから参加したいイベントをタッチ

Community Support System in Asuka たすけあいカー

ポイント履歴 終了 認知一郎様

更新

10月26日 水曜日

😊 お願いする

🚗 提供する

日	月	火	水	木	金	土
📅 2			📅 1 😊 0	📅 1		
	🚗 1			🚗 1	🚗 1	
16	17 🚗	18 📅 1	19 📅 2	20	21 📅 1 😊 0	22
23 📅 1	24 🚗 1	25 📅 1	26 📅 1	27 📅 1	28 🚗 0	29

1

📅 タブレット講習会

😊 お願いする

時間：13：30～14：30
開催場所：あすけあいプロジェクト事務局
[内容]
あすけあいプロジェクト事務局でタブレット講習を行います。「もう1度説明を聞きたい、他の脳トレをしてみたい、こんな時どうすれば…」等々 お困りのことがありましたら、ぜひお越しく下さい。 *お問合せ TEL：61-2771 担当：鈴木・浦野

高齢者のおでかけ促進

高齢者へのサポート

「院長サロン」
「タブレット教室」
「おひさまカフェ」
「交流会」など
お出かけイベント開催



足助病院内に「たすけあいプロジェクト」の事務所を設置

タクシー相乗り（タクシム）

■ 足助病院の総合受付のカウンター

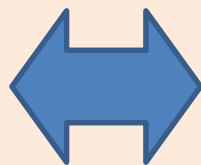
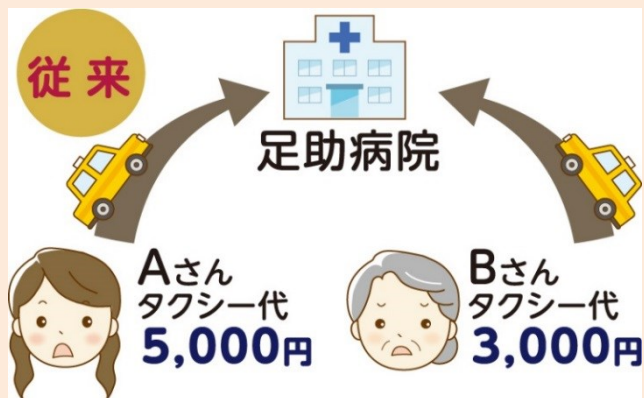


専用のキオスク端末を設置
カードで起動



入力は簡単
スタッフによる代行入力

■ 公平な料金負担



地域住民主体の里モビサークル活動

○地域住民自らが超小型モビリティ「コムス」を中山間地域に適した仕様に改造し、日常の移動用として活用⇒**里モビサークル**



○里モビ出発式 平成30年1月18日（木）@足助交流館

地域の課題やニーズを踏まえ、地域住民自らが中山間地域に適した仕様に改造した二人乗り超小型モビリティ(通称 里モビ)が、日本で初めて車両登録の認可を取得。



里モビLIFEプロジェクト

○里モビLIFEプロジェクト

これまでの実証で山村地域の高齢者において一定のニーズがあることがわかり、H31年度からは、有償で地域の住民に貸し出し、地域での共有の可能性や超小型モビリティの活用で移動にストレスをかけない（時間をかけない）ライフスタイルのモデルを検証



名古屋大学から（一社）おいでん・さんそんへ車両29台を譲渡



豊田市つながる社会実証推進協議会

設立日 2016年10月12日

活動テーマ

- ①資源・エネルギーの地産地消
- ②超高齢社会への対応
- ③交通安全の推進

協議会の特徴

- ①人工知能・IoT等の先進技術を活用し、市の課題解決を図る
- ②民産金学官の連携
- ③国内外への横展開
- ④地方創生推進交付金の活用
- ⑤総合特区の推進母体
- ⑥地方版IoT推進ラボの推進母体

会員

65団体（2019年3月5日現在）
会長：豊田市長



SDGs未来都市の取組

「SDGS未来都市」選定

● 2018年6月15日

国（内閣府）から「SDGS未来都市」選定

「SDGS未来都市」：SDGs達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体

豊田市の取組「**みんながつながる ミライにつながるスマートシティ**」

SDGsの理念に沿った統合的取組（経済・社会・環境）の視点で、多様な主体の「自立」と「つながり」をもって本市の取組を加速化し、スマートシティを実現



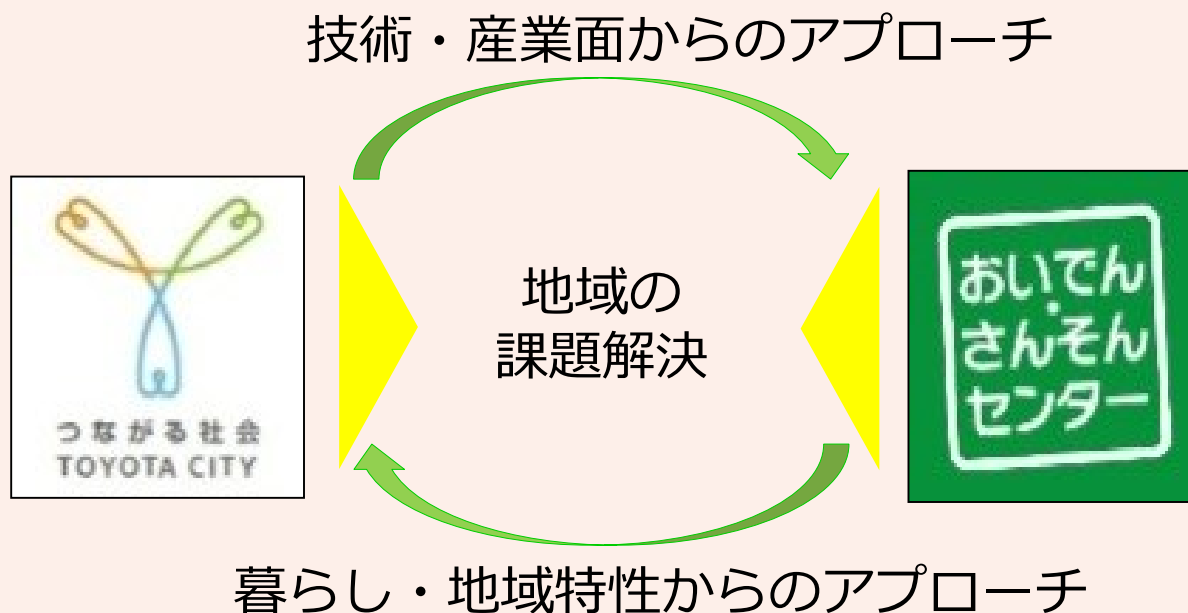
選定証授与式において安倍総理
はじめ関係閣僚と記念撮影



選定された29都市

課題解決に向けて

○豊田市独自の**二大プラットフォーム**の相互連携を起点にしたSDGsに取り組むステークホルダーの参加促進



豊田市つながる社会実証推進協議会
企業・技術をつなぐプラットフォーム
：AI・IoT等の先進技術実証・実装

おいでん・さんそんセンター
“いなか”と“まち”をつなぐプラットフォーム
：パートナーシップ・関係人口の拡大



こんな豊田市、知らなかった。
The other side of Toyota City



こんな豊田市、知らなかった。
The other side of Toyota City

ご清聴ありがとうございました。